

宮城県津波浸水想定の設定に関する検討会（第2回）  
議事概要について

1. 検討会の概要

日 時：令和3年1月7日（木）

場 所：宮城県庁本町分庁舎（漁信基ビル）7階702会議室

出席者：今村座長、松澤委員、越村委員、日野委員、加藤委員、菅野委員代理  
国土交通省東北地方整備局河川部堀井地域河川課長（オブザーバー）  
総務部千葉危機管理監（オブザーバー）

なお、検討会の議事については、県の情報公開条例第19条に基づき、非開示情報が含まれることから、非公開とした。

2. 議事概要

宮城県沿岸における津波浸水想定について、第1回検討会での意見への対応や今次津波モデルの予測シミュレーション及び日本海溝・千島海溝モデル等について、事務局から説明し、委員間で議論を行った。概要は次のとおり。

○二線堤（高盛土道路等）の越流時破壊条件について、越流水深だけでなく、越流継続時間にも着目してはどうか。

○内閣府が公表している日本海溝・千島海溝モデルは、断層の破壊開始点が複数ケース設定されており、宮城県沿岸の海岸線付近で水位が最大となる津波が、必ずしも最大の浸水とならない可能性があるため、全てのケースを検討した方が良い。